

2018年3月期 第2四半期 決算実績 概況資料

2017年11月9日

株式会社西武ホールディングス（9024）
<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2018年3月期第2四半期までの
主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P8

IV. 決算実績詳細

P21

V. 2018年3月期 業績予想

P25

2018年3月期第2四半期 決算実績

(金額単位：億円)

	2017/3期	2018/3期	対前年同期		2018/3期	対予想	
	第2Q実績	第2Q実績	(増減額・率)		第2Q予想	(増減額・率)	
営業収益	2,511	2,663	+151	+6.0%	2,698	△34	△1.3%
営業利益	300	378	+77	+25.7%	352	+26	+7.5%
償却前営業利益 [※]	518	626	+108	+20.8%	598	+28	+4.8%
経常利益	293	331	+38	+13.2%	307	+24	+8.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	251	232	△19	△7.6%	219	+13	+6.3%

※ 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与、東京ガーデンテラス紀尾井町における賃料収入の増加に加え、運輸収入の増加や、(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収。

▶ [3ページ](#)

■ 営業利益

増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことにより増益。

▶ [4ページ](#)

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+2.2% (定期+2.1%、定期外+2.3%)

▶ [9ページ](#)

<ホテル業>

RevPAR 11,744円 (前年同期比+5.1%)
シティ12,310円 (同+3.9%)、リゾート10,576円 (同+6.3%)

▶ [11ページ](#)

■ 経常利益

前年同期にNWコーポレーションにかかる持分法による投資利益の計上があったことなどにより、営業利益と比較して増益額は縮小。

▶ [22ページ](#)

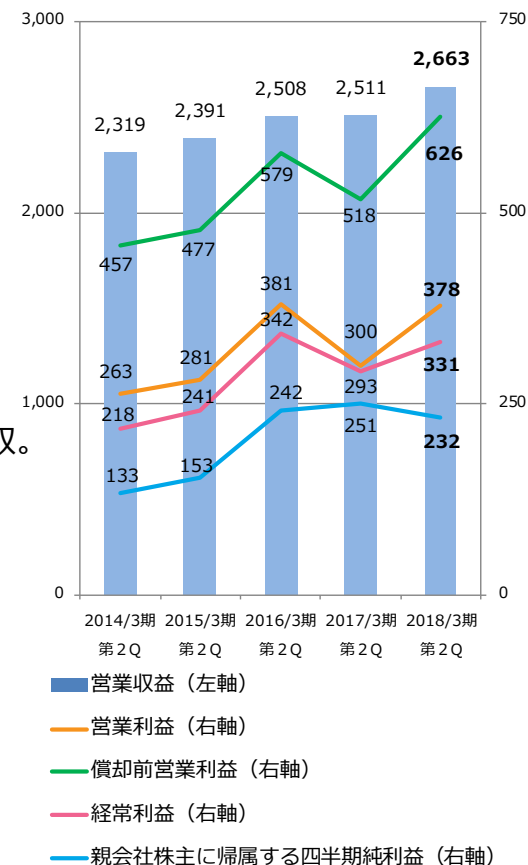
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記要因に加え、前年同期に土地売却にともなう固定資産売却益の計上があったことや、プリンスホテルにおける繰延税金資産の計上があったことなどにより、前年同期比△19億円。

▶ [21ページ](#)

業績の推移

(金額単位：億円)



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第2Q実績	2018/3期 第2Q実績	対前年同期 (増減額・率)		2018/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	784	817	+32	+4.1%	827	△9	△1.2%	鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより前年同期比で増収。対予想では、夏季の天候不良によりプール営業が不調であったことなどにより減収。
ホテル・レジャー事業	929	1,015	+86	+9.3%	1,051	△35	△3.4%	東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与などにより、前年同期比で増収。対予想では、RevPARが計画に届かなかったことなどにより減収。
不動産事業	261	295	+33	+12.9%	287	+8	+3.1%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町の収益寄与により増収。対予想では、西武立川駅前での住宅販売や軽井沢・プリンスショッピングプラザの好調により増収。
建設事業	475	473	△2	△0.4%	490	△16	△3.3%	大型の土木工事の竣工があったものの、造園請負工事の減少などにより、前年同期比で減収。対予想では、一部工事において進行基準未適用となったことや、戸建工事が減少したことなどにより減収。
ハワイ事業	81	79	△2	△2.6%	85	△5	△7.0%	マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが好調に推移し、ドル建てでは増収となったものの、為替レートの変動により減収。対予想では、プリンスワイキキの稼働率が計画に届かなかったことなどにより減収。
その他	226	239	+12	+5.3%	234	+5	+2.2%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収。
調整額	△248	△256	△8	-	△276	+19	-	
連結数値	2,511	2,663	+151	+6.0%	2,698	△34	△1.3%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第2Q実績	2018/3期 第2Q実績	対前年同期 (増減額・率)		2018/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	158	173	+15	+9.7%	165	+8	+5.2%	鉄道業において運輸収入が好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより前年同期比で増益。対予想では、鉄道業において費用が減少したことや、(株)横浜アリーナが好調に推移したことにより増益。
ホテル・レジャー事業	79	88	+8	+11.0%	98	△9	△9.5%	対前年同期では、リニューアルしたホテルの初動経費や、戦略的な人員の増加、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益。対予想では減収により減益。
不動産事業	29	76	+47	+162.8%	67	+9	+13.9%	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益。
建設事業	19	23	+3	+19.1%	10	+13	+134.2%	土木工事の利益率が向上したことなどにより増益。
ハワイ事業	△5	△7	△2	—	△5	△2	—	プリンスワイキキの減収などにより減益。
その他	21	24	+3	+18.4%	20	+4	+24.8%	増収による増益。
調整額	△1	△1	+0	—	△3	+1	—	
連結数値	300	378	+77	+25.7%	352	+26	+7.5%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 第2Q実績	2018/3期 第2Q実績	対前年同期 (増減額・率)		2018/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	258	278	+20	+7.9%	269	+9	+3.7%	
ホテル・レジャー事業	139	162	+23	+16.6%	171	△8	△4.7%	
不動産事業	67	121	+53	+79.2%	113	+8	+7.8%	
建設事業	21	25	+3	+17.7%	12	+13	+110.4%	
ハワイ事業	3	2	△1	△31.9%	5	△2	△48.0%	
その他	33	38	+5	+15.5%	34	+4	+14.4%	
調整額	△6	△4	+2	—	△6	+1	—	
連結数値	518	626	+108	+20.8%	598	+28	+4.8%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

2018年3月期第2四半期までの主な取り組み

全体

- ・新規事業分野の創出を目的とし、当社内に「西武ラボ」を新設

都市交通・沿線事業

- ・西武秩父駅のリニューアル工事が完了、「西武秩父駅前温泉 祭の湯」開業（4月24日）
- ・新型特急車両の基本デザインを決定（2019年3月運行開始予定）
- ・40000系車両が第11回キッズデザイン賞『子どもたちを産み育てやすいデザイン部門』『内閣総理大臣賞』（最優秀賞）を受賞
- ・としまえんに新ライド「チャレンジトレイン」オープン（9月30日）
- ・「飯能・西武の森」がSEGES※の最高位獲得及び「第5回みどりの社会貢献賞」を受賞

※SEGESとは、公益財団法人都市緑化機構が運営している、企業などの緑の保全・創出活動による社会や環境への貢献度を評価・認定するシステム

ホテル・レジャー事業

- ・「東京プリンスホテル」「ザ・プリンス パークタワー東京」「グランドプリンスホテル京都」「大磯プリンスホテル」リニューアルオープン
- ・「函館大沼プリンスゴルフコース」の名称を「北海道カントリークラブ プリンスコース」に変更、クラブハウスを新設しリニューアルオープン（6月1日）
- ・宿泊特化型新ブランドを「Prince Smart Inn」に決定（2020年3月期営業開始予定）
- ・「StayWell Hospitality Group Pty Ltd」の事業取得を決定（2017年10月取得完了）
- ・元京都市立清水小学校跡地のホテル事業の運営受託内定（2019年夏開業予定）
- ・「芦ノ湖畔蛸川温泉 龍宮殿」の本館を「絶景日帰り温泉 龍宮殿本館」としてリニューアルオープン（7月22日）

不動産事業

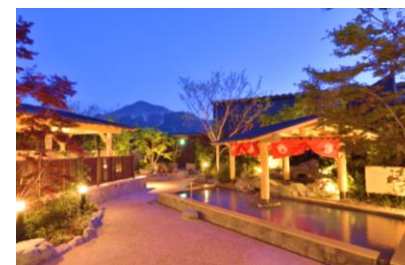
- ・再開発プロジェクトの推進（グランエミオ所沢（I期2018年3月上旬開業予定）、（仮称）西武鉄道池袋ビル（2019年春開業予定）など）
- ・国道15号・品川駅西口駅前広場の整備に係る事業協力者に(株)西武プロパティーズが選定（9月8日）

ハワイ事業

- ・ハワイプリンスホテルワイキキの全面改装完了及び、ホテル名称を「プリンスワイキキ」としてリニューアルオープン（4月1日）
- 6 「ハプナビーチプリンスホテル」が「ウェスティン」ブランドに加盟。全面改装を実施し、ホテル名称を「ウェスティン ハプナ ビーチ リゾート」として営業開始予定（2018年2月予定）



40000系車両



西武秩父駅前温泉 祭の湯



東京プリンスホテル 客室



プリンスワイキキ 客室

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	78,477	81,711	+3,233	+4.1%	
鉄道業	52,170	53,122	+952	+1.8%	雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移し増収
バス業	12,936	13,044	+108	+0.8%	路線バスにおいてIC定期券が好調に推移したことなどにより増収
沿線レジャー業	10,847	11,684	+836	+7.7%	「西武秩父駅前温泉 祭の湯」の開業や、「としまえん」においてチケット単価が上昇したことなどにより増収
その他	2,523	3,859	+1,336	+53.0%	(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収
営業利益	15,832	17,362	+1,529	+9.7%	鉄道業において運輸収入が好調に推移したこと
償却前営業利益	25,845	27,888	+2,043	+7.9%	や、(株)横浜アリーナの連結子会社化により増益

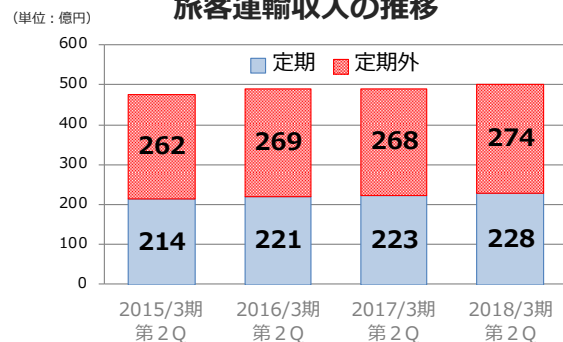
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

		2015/3期	2016/3期	対前年同期	2017/3期	対前年同期	2018/3期	対前年同期
		第2Q	第2Q	増減率	第2Q	増減率	第2Q	増減率
輸送人員	定期	197,556	203,985	+3.3%	206,397	+1.2%	210,579	+2.0%
	定期外	119,223	122,446	+2.7%	122,140	△ 0.3%	124,025	+1.5%
	計	316,780	326,432	+3.0%	328,538	+0.6%	334,605	+1.8%
旅客運輸 収入	定期	21,458	22,128	+3.1%	22,389	+1.2%	22,860	+2.1%
	定期外	26,263	26,938	+2.6%	26,844	△ 0.3%	27,449	+2.3%
	計	47,721	49,066	+2.8%	49,233	+0.3%	50,309	+2.2%
運輸雑収		2,028	2,082	+2.7%	1,989	△ 4.4%	1,993	+0.2%
収入合計		49,750	51,148	+2.8%	51,223	+0.1%	52,303	+2.1%

旅客運輸収入の推移



■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により増加

■ 定期外

メットライフドームでのイベント開催、秩父エリアの
プロモーション強化などにより増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	92,960	101,563	+8,603	+9.3%	
ホテル業（シティ）	49,929	57,486	+7,557	+15.1%	東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与により増収
ホテル業（リゾート）	20,180	20,773	+593	+2.9%	一部事業所の改装にともなう営業休止の影響があったものの、稼働率の上昇によりRevPARが上昇し、食堂部門も好調に推移し増収
ゴルフ場業	7,350	7,700	+349	+4.8%	コンペの獲得や個人の集客などにより増収
その他	15,500	15,602	+102	+0.7%	
営業利益	7,990	8,870	+879	+11.0%	リニューアルしたホテルの初動経費や、戦略的な人員の増加、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益
償却前営業利益	13,978	16,295	+2,317	+16.6%	

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

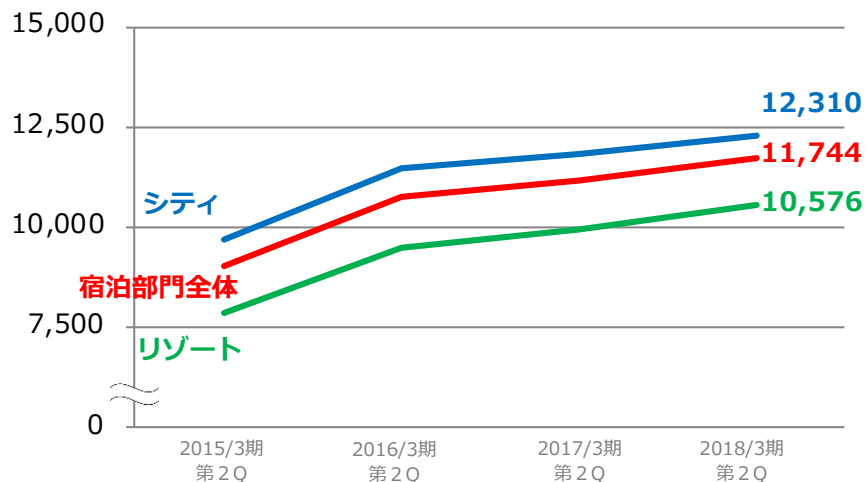
(RevPAR・平均販売室料：円)

		2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2017/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2018/3期 第2Q	対前年同期 増減率
RevPAR	シティ	9,695	11,452	+18.1%	11,845	+3.4%	12,310	+3.9%
	高輪・品川エリア	10,115	12,119	+19.8%	12,825	+5.8%	12,684	△ 1.1%
	リゾート	7,866	9,502	+20.8%	9,953	+4.8%	10,576	+6.3%
	軽井沢エリア	19,942	22,184	+11.2%	22,060	△ 0.6%	24,108	+9.3%
	宿泊部門全体	9,029	10,784	+19.4%	11,171	+3.6%	11,744	+5.1%
平均販売室料	シティ	11,923	13,653	+14.5%	14,689	+7.6%	15,007	+2.2%
	高輪・品川エリア	11,829	13,839	+17.0%	14,718	+6.3%	14,765	+0.3%
	リゾート	15,624	16,821	+7.7%	17,415	+3.5%	17,246	△ 1.0%
	軽井沢エリア	34,125	34,645	+1.5%	34,041	△ 1.7%	34,869	+2.4%
	宿泊部門全体	12,892	14,476	+12.3%	15,456	+6.8%	15,602	+0.9%
客室稼働率	シティ	81.3%	83.9%	+2.6pt	80.6%	△ 3.2pt	82.0%	+1.4pt
	高輪・品川エリア	85.5%	87.6%	+2.1pt	87.1%	△ 0.4pt	85.9%	△ 1.2pt
	リゾート	50.3%	56.5%	+6.1pt	57.2%	+0.7pt	61.3%	+4.2pt
	軽井沢エリア	58.4%	64.0%	+5.6pt	64.8%	+0.8pt	69.1%	+4.3pt
	宿泊部門全体	70.0%	74.5%	+4.5pt	72.3%	△ 2.2pt	75.3%	+3.0pt

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

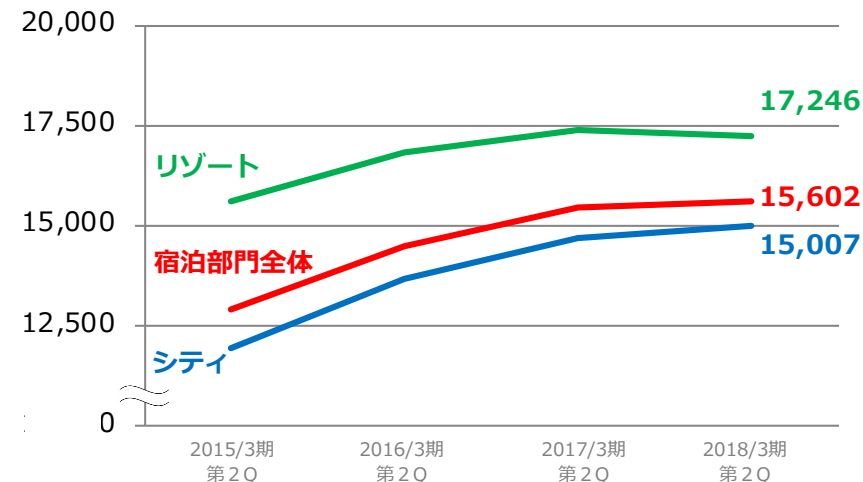
(単位：円)

RevPARの推移

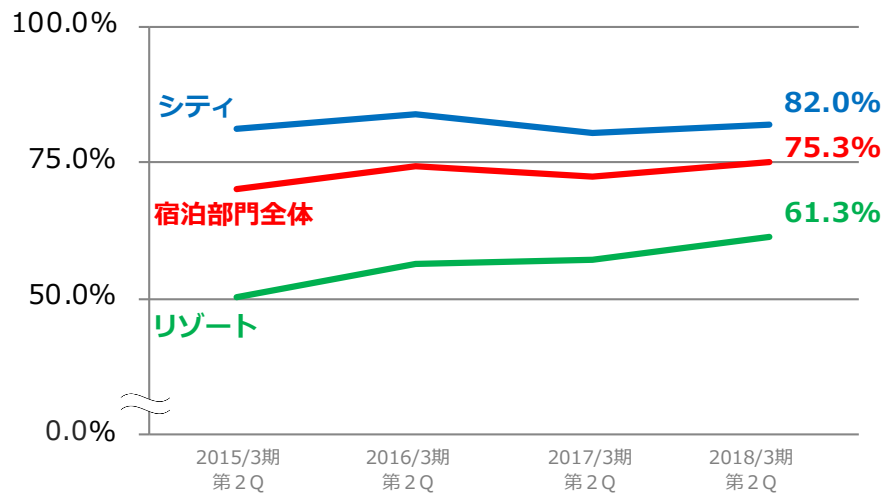


(単位：円)

平均販売室料の推移



客室稼働率の推移

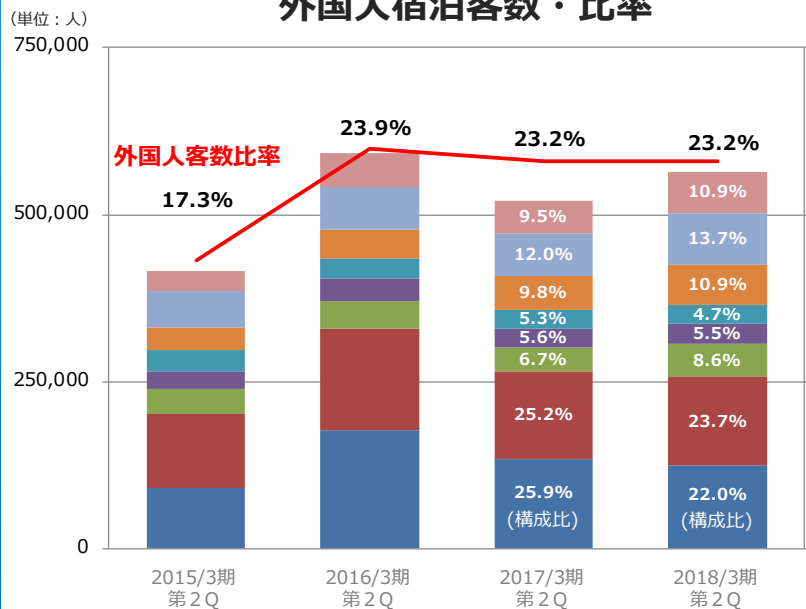


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

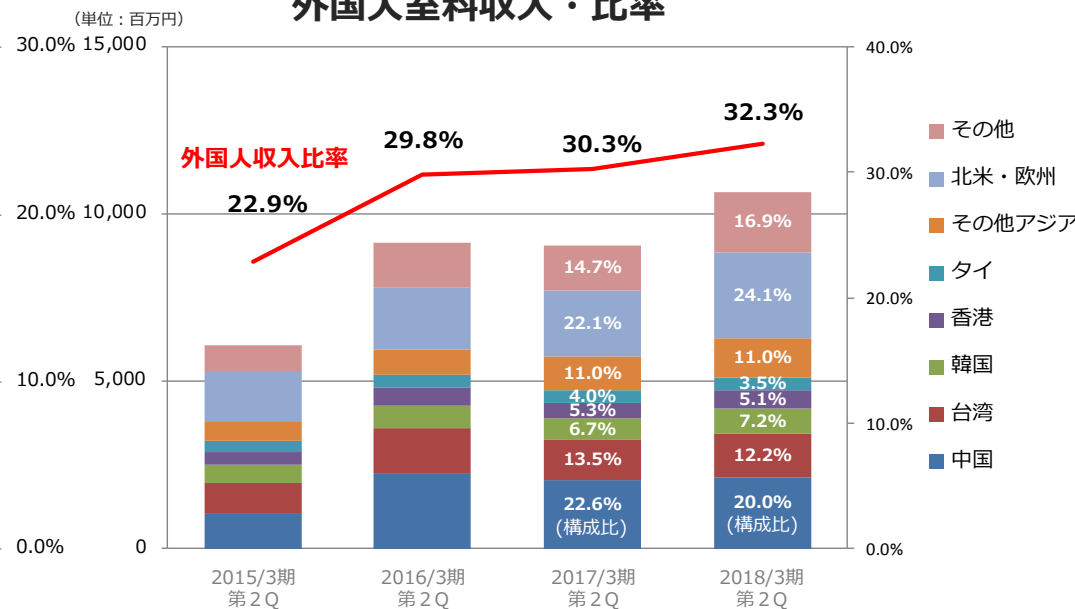
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	1,992,525	1,883,695	△ 108,830	1,725,178	△ 158,517	1,870,130	+ 144,952
	外国人客	415,467	592,436	+ 176,969	520,656	△ 71,780	564,278	+ 43,622
	計	2,407,992	2,476,131	+ 68,139	2,245,834	△ 230,297	2,434,408	+ 188,574
室料収入	外国人客	6,079	9,132	+ 3,053	9,060	△ 72	10,658	+ 1,597

外国人宿泊客数・比率

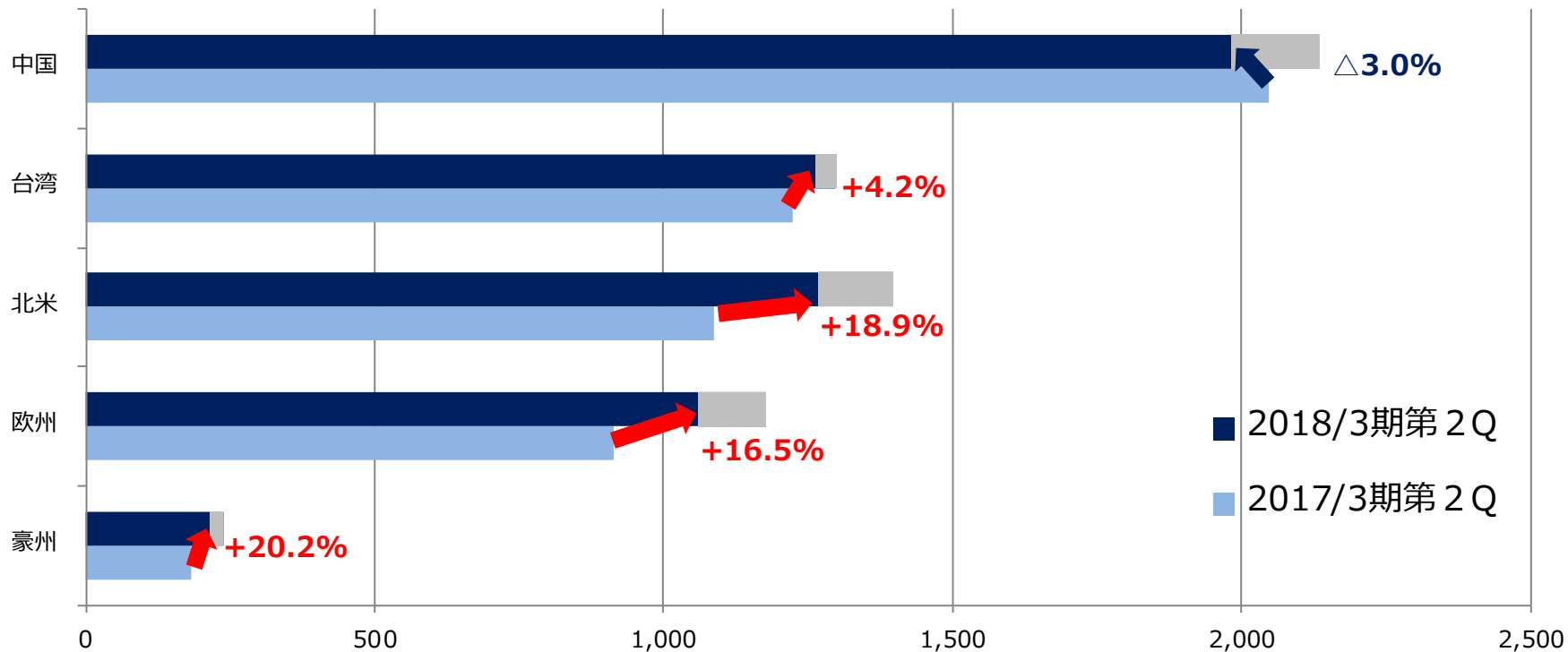



外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

■ 主な国・地域の外国人室料収入※



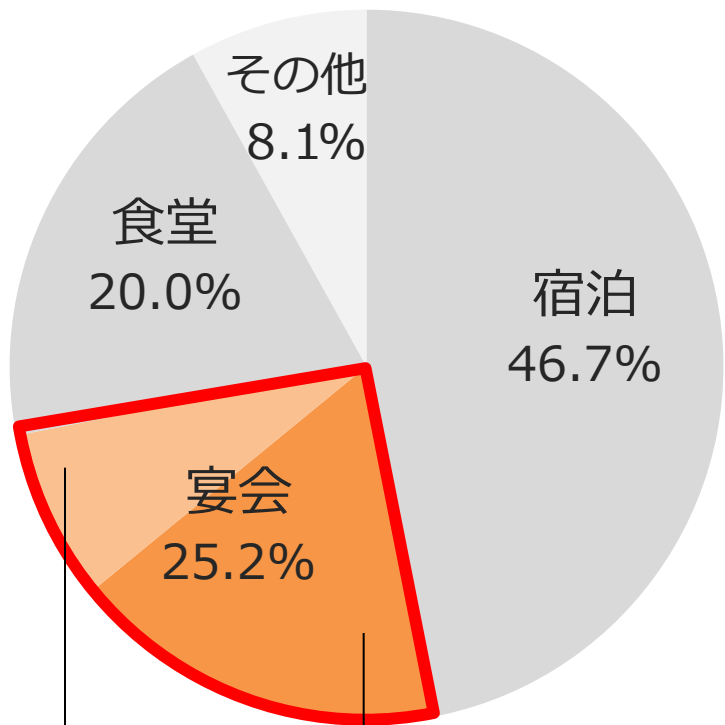
※耐震補強工事にともなう営業休止の影響（グラフ内の  ）を除いたベース

（単位：百万円）

北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域が着実に増加

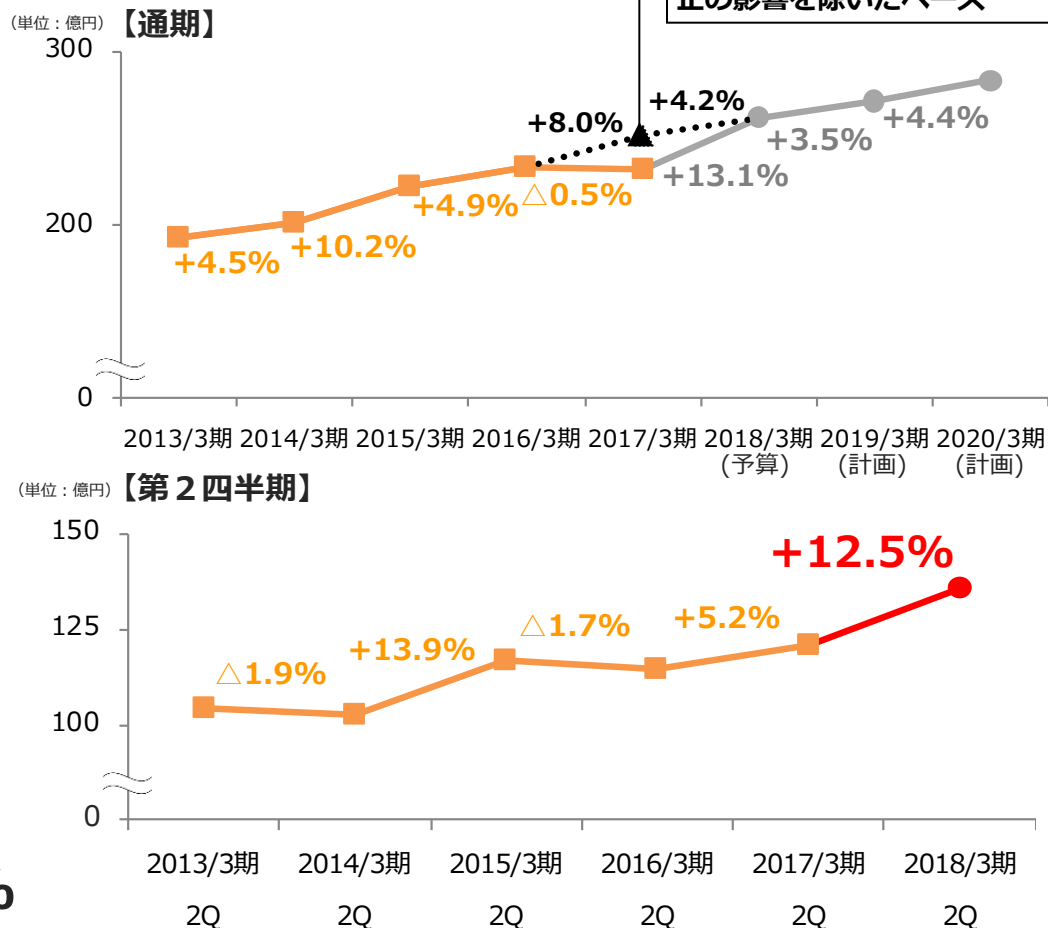
ホテル・レジャー事業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2018年3月期2Q)



ブライダル・
その他宴会 7.8% — **MICE 17.4%**

■ MICE売上高の推移



MICE売上高は増加トレンドが継続。計画では2Q時点で前年同期比+9.3%を見込んでいたが、企業のミーティング需要を着実に取込んでいるほか、東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪の営業再開の寄与もあり、実績では+12.5%と計画を上回って推移

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	26,196	29,575	+3,378	+12.9%	
不動産賃貸業	17,169	20,139	+2,969	+17.3%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町の収益寄与や賃貸住宅、軽井沢・プリンスショッピングプラザの好調により増収
その他	9,027	9,436	+408	+4.5%	西武立川駅前での住宅の販売により増収
営業利益	2,903	7,631	+4,727	+162.8%	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益
償却前営業利益	6,798	12,185	+5,387	+79.2%	

(面積：千㎡)

		2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期
建物賃貸物件 の期末貸付面積	商業施設	226	231	+5	237	+5	237	+0
	オフィス・住宅	57	58	+1	160	+102	170	+10
建物賃貸物件 の期末空室率	商業施設	2.0%	2.2%	+0.2pt	1.1%	△ 1.1pt	0.7%	△ 0.4pt
	オフィス・住宅	6.8%	15.0%	+8.2pt	2.0%	△ 13.0pt	0.8%	△ 1.2pt

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	47,566	47,359	△ 206	△ 0.4%	
建設業	34,625	35,314	+ 689	+ 2.0%	大型の土木工事が竣工したことなどにより増収
その他	12,940	12,044	△ 896	△ 6.9%	造園請負工事の減少などにより減収
営業利益	1,967	2,341	+ 374	+ 19.1%	
償却前営業利益	2,144	2,525	+ 380	+ 17.7%	土木工事の利益率が向上したことなどにより増益

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期
期首繰越高	62,321	84,335	+ 22,014	99,069	+ 14,733	89,755	△ 9,313
期中受注高	45,142	42,406	△ 2,735	40,812	△ 1,594	46,103	+ 5,290
期末繰越高	75,979	95,621	+ 19,642	105,340	+ 9,718	100,660	△ 4,679

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	8,108	7,901	△ 207	△ 2.6%	マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが好調に推移し、ドル建てでは増収となったものの、為替レートの変動により減収
営業利益	△ 518	△ 765	△ 247	—	プリンスワイキキの減収などにより減益
償却前営業利益	382	260	△ 122	△ 31.9%	

ホテルの営業指標

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期
RevPAR (円)	16,887	21,104	+4,217	19,369	△ 1,735	18,999	△ 370
RevPAR (米ドル)	165.56	176.16	+10.60	176.08	△ 0.08	180.95	+4.87
平均販売室料 (円)	23,878	28,940	+5,062	27,302	△ 1,638	30,218	+2,916
平均販売室料 (米ドル)	234.10	241.57	+7.47	248.20	+6.63	287.79	+39.59
客室稼働率	70.7%	72.9%	+2.2pt	70.9%	△ 2.0pt	62.9%	△ 8.0pt

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	22,699	23,908	+1,208	+5.3%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収
営業利益	2,109	2,496	+387	+18.4%	増収による増益
償却前営業利益	3,367	3,889	+522	+15.5%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期	摘要
営業収益	251,178	266,335	+15,157	都市交通・沿線：+32億円、ホテル・レジャー：+86億円、 不動産：+33億円、建設：△2億円、ハワイ：△2億円、 その他：+12億円
営業利益	30,098	37,835	+7,737	都市交通・沿線：+15億円、ホテル・レジャー：+8億円、 不動産：+47億円、建設：+3億円、ハワイ：△2億円、 その他：+3億円
営業外収益	4,995	1,200	△3,794	持分法による投資利益 △37億円
営業外費用	5,786	5,871	+84	
経常利益	29,306	33,165	+3,858	
特別利益	4,283	968	△3,315	固定資産売却益 △33億円
特別損失	1,980	1,290	△690	
税金等調整前四半期純利益	31,609	32,842	+1,233	
法人税等	6,344	9,174	+2,830	法人税、住民税及び事業税+13億円 法人税等調整額+14億円（前年同期：プリンスホテルにおける繰延税金資 産の計上 △28億円）
四半期純利益	25,264	23,668	△1,596	
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	392	+308	
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,180	23,275	△1,904	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第2Q	2018/3期 第2Q	対前年同期	摘要
営業利益	30,098	37,835	+7,737	
営業外収益	4,995	1,200	△ 3,794	
受取利息・配当金	394	480	+86	
バス路線運行維持費補助金	222	230	+8	
持分法による投資利益	3,751	—	△ 3,751	前年同期：NWコーポレーションが持分法適用関連会社になったことにもなう計上
その他営業外収益	627	489	△ 137	
営業外費用	5,786	5,871	+84	
支払利息	5,310	5,384	+74	
持分法による投資損失	—	34	+34	
その他営業外費用	476	452	△ 24	
経常利益	29,306	33,165	+3,858	
特別利益	4,283	968	△ 3,315	
固定資産売却益	3,367	13	△ 3,354	前期：土地売却（新杉田）
工事負担金等受入額	18	91	+72	
補助金収入	316	118	△ 197	
受取補償金	—	744	+744	
その他特別利益	580	0	△ 580	
特別損失	1,980	1,290	△ 690	
減損損失	41	51	+10	
固定資産売却損	8	91	+82	
固定資産除却損	1,026	913	△ 113	
工事負担金等圧縮額	18	82	+64	
固定資産圧縮損	296	105	△ 191	
投資有価証券評価損	0	—	△ 0	
訴訟損失	3	—	△ 3	
その他特別損失	585	45	△ 540	
税金等調整前四半期純利益	31,609	32,842	+1,233	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 期末	2018/3期 第2Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,627,868	1,615,088	△ 12,779	
流動資産	126,702	108,564	△ 18,137	受取手形及び売掛金 △10,941 その他 △8,549 (未取還付消費税の入金など) 現金及び預金 +1,568
固定資産	1,501,166	1,506,524	+5,357	投資有価証券 +5,510 有形・無形固定資産 +1,523 退職給付に係る資産 △679 繰延税金資産 △630
負債 合計	1,267,735	1,237,255	△ 30,480	
流動負債	366,590	322,327	△ 44,263	短期借入金 △15,190 支払手形及び買掛金 △9,172 その他 △24,015 (設備投資未払金等の減少) 前受金 +3,956
固定負債	901,144	914,927	+13,783	長期借入金 +16,177 鉄道・運輸機構長期未払金 △2,547
純資産 合計	360,133	377,833	+17,700	利益剰余金 +18,399 その他有価証券評価差額金 +2,670 為替換算調整勘定 △2,267 退職給付に係る調整累計額 △1,881
有利子負債 期末残高	909,104	904,907	△ 4,197	
ネット有利子負債	880,032	874,267	△ 5,765	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2018年3月期 業績予想	P25

2018年3月期連結業績予想（期初予想と変更はございません）

2018年3月期 通期予想

（金額単位：億円）

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	調整額
	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期
営業収益	5,420 + 5.9%	1,629 + 4.1%	2,107 + 11.8%	609 + 13.3%	1,074 △ 6.6%	195 △ 15.8%	382 + 2.6%	△ 576 -
営業利益	632 + 1.2%	268 △ 0.0%	190 + 34.8%	142 + 80.0%	40 △ 59.3%	△ 4 -	3 △ 58.3%	△ 7 -
償却前営業利益	1,142 + 5.6%	484 + 1.9%	342 + 26.8%	235 + 45.1%	45 △ 55.9%	18 △ 70.2%	32 △ 5.0%	△ 14 -
経常利益	546 △ 5.0%							
親会社株主に帰属する 当期純利益	408 △ 14.2%							

（注）連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。